

# 教育学部

## 中等教育プログラム

取得できる学位 ★学士（教育学）

### ■ プログラムの概要

本プログラムは、中等教育教員としての基礎的な素養を担保する、教育の本質や教育内容、教育方法・技術等の理解、生徒の発達や実態等の理解に関する基礎的・基本的な知識を習得するための科目と、各教科、道徳等に関する専門的知識・技能を習得するための科目から構成されている。

### ■ 人材育成目標

総合大学としての新潟大学で学ぶ利点を活かし、中等教育教員として必要とされる基礎的な知識・技能・態度に加えて、広い視野と豊かな教養をもち、本学の理念である自律と創生の精神に富んだ人材の育成を目標とする。

本プログラムの修了者には、教育職員免許法で定める中学校教諭一種免許状（各教科）を取得できる資格が与えられる。修了者は新潟市をはじめとする新潟県内や隣接自治体において、人格・能力ともに優れた中等教育教員として活躍することが期待される。

### ■ プログラムの到達目標（期待される学修成果）

#### | 1 | 知識・理解

---

- a) 教職を含むキャリア形成に関する知識・理解を獲得する。
- b) 教育の現状および課題に関する科学的な知識・理解を獲得する。
- c) 生徒の発達に関する科学的な知識・理解を獲得する。
- d) 設計から実施・評価までを視野に入れた授業実践方式に関する知識・理解を獲得する。
- e) 各教科についての授業内容・授業技術に関する基礎的な知識・理解を獲得する。
- f) 人間や社会、自然に関する広い視野と基礎的な知識・理解を獲得する。
- g) 実践的な活動や体験を通して、学校と子どもの現状についての知識・理解を獲得する。

#### | 2 | 当該分野固有の能力

---

- a) 中等学校教員として、学校や教育の現状およびその今日的課題について分析することができる。
- b) 中等学校教員として、生徒の現状や発達について分析し、その発達を適切に支援することができる。
- c) 中等学校教員として、専門とする教科の内容に関する理解を踏まえて、これを生徒に適切に教えることができる。
- d) 中等学校教員として、授業計画を設計し、授業を実施するとともに、常にその在り方を見直していくことができる。

### | 3 | 汎用的能力

- a) 人間の発達に関する理解に基づいて、良好で創造的な人間関係を構築する能力を身につける。
- b) 様々な情報を整理し、論理的に思考する能力を身につける。
- c) 的確な自己表現、およびプレゼンテーションを行う能力を身につける。
- d) 一定のプログラムを企画し、これを実施する能力を身につける。

### | 4 | 態度・姿勢

- a) 教育および教職に対する使命感や情熱をもつ。
- b) 高い倫理観と規範意識をもつ。
- c) 子どもを理解し、子どもの利益を尊重する姿勢を身につける。
- d) 教員として自律的に学び続ける態度・姿勢を身につける。

## ■ プログラムの履修要件

- ・幅広い分野にわたり、高校卒業レベルの学力を確実に修得している。
- ・専門科目の学習に必要な、高校卒業レベルの基礎学力および基礎的実技能力を有する。
- ・通常の人間関係に必要なコミュニケーション能力を備えている。
- ・学校教育に対し熱意と関心を持っている。
- ・中等教育に関する教員になることを目指している。

## ■ カリキュラム立案と学修方法についての基本方針

- ・育成する人材とその到達目標を多角的・総合的に検討し、7本の柱を立てた。この7本を、そのまま科目群（キャリア教育科目群、教育科学科目群、教育心理・カウンセリング科目群、教育実践科目群、教育方法科目群、教育内容科目群、教養教育科目群）とした。
- ・教育実践科目群を中心に配置し、これを両翼の理論的な科目群（キャリア教育科目群、教育科学科目群、教育心理・カウンセリング科目群と教育方法科目群、教育内容科目群、教養教育科目群）が支える形をイメージした。
- ・教育実践科目群は、いわゆる「4年一貫の教育実習」として、各学年にバランスよく設定した。
- ・専門教育に関する授業科目と教養教育に関する授業科目のバランスを考慮した。
- ・卒業研究（卒業論文、卒業制作等）を必須とし、確固とした専門的力量的育成を考慮した。